

平成31年度 全国学力・学習状況調査結果について

1 調査の目的

- (1) 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- (3) 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。

2 調査実施日 平成31年4月18日（木）

3 調査対象（仙台市・国立・私立を除く）

対 象	調 査 事 項		参 加 状 況	
	教科に関する調査	質問紙調査	公立実施校	参加児童生徒数
小学校6年生	国語, 算数	学習意欲, 学習・生活習慣,	251校	10,485名
中学校3年生	国語, 数学, 英語	規範意識・自己有用感等	134校	10,136名
学 校		授業改善, 学習指導, 学校運営, 小・中連携等		

※小学校に義務教育学校（前期課程）、特別支援学校（小学部）を含む。

※中学校に義務教育学校（後期課程）、特別支援学校（中学部）を含む。

4 調査結果の概要

(1) 教科に関する調査の結果

※宮城県…仙台市を除く

対 象	教 科	宮城県 平均正答率 (%)	全 国 平均正答率 (%)	全国との かい離 (P)	順位(参考)	
					東北	全国
()…仙台市を含む						
小学校	国 語	61	64	-3	6 (6)	40 (38)
	算 数	64	67	-3	6 (3)	43 (33)

対 象	教 科	宮城県 平均正答率 (%)	全 国 平均正答率 (%)	全国との かい離 (P)	順位(参考)	
					東北	全国
()…仙台市を含む						
中学校	国 語	71	73	-2	6 (2)	37 (9)
	数 学	55	60	-5	6 (3)	46 (34)
	英 語	50	56	-6	6 (3)	46 (38)

平成31年度の平均正答率一覧

校種	教科	年度	問題数	宮城県 平均 正答率 (%)	全国 平均 正答率 (%)	仙台市 を含む 平均 正答率 (%)	全国とのかい離 (ポイント)	
							宮城県	仙台市 を含む
小学校	国語	H31	14	61	64	62	-3	-2
	算数	H31	14	64	67	65	-3	-2
中学校	国語	H31	10	71	73	74	-2	+1
	数学	H31	16	55	60	58	-5	-2
	英語	H31	26	50	56	53	-6	-3

※「知識」に関するA問題と「活用」に関するB問題を一体的に問う調査問題になる。

(参考) 平成30年度の平均正答率一覧

校種	教科	年度	「知識」に関するA問題						「活用」に関するB問題					
			問題数	宮城県 平均 正答率 (%)	全国 平均 正答率 (%)	仙台市 を含む 平均 正答率 (%)	全国とのかい離 (ポイント)		問題数	宮城県 平均 正答率 (%)	全国 平均 正答率 (%)	仙台市 を含む 平均 正答率 (%)	全国とのかい離 (ポイント)	
							宮城県	仙台市 を含む					宮城県	仙台市 を含む
小学校	国語	H30	12	67	71	69	-4	-2	8	52	55	53	-3	-2
	算数	H30	14	60	64	62	-4	-2	10	47	52	49	-5	-3
中学校	国語	H30	32	75	76	77	-1	+1	9	59	61	62	-2	+1
	数学	H30	36	61	66	65	-5	-1	14	43	47	47	-4	0

(2) 児童生徒の学習状況等に関する結果（「児童生徒の回答」の一部抜粋）

① 県「学力向上に向けた5つの提言」に関する取組状況について

質問番号		質問事項	小学校		中学校	
小	中		宮城県 児童の回答(%)	全国との かい離(P)	宮城県 生徒の回答(%)	全国との かい離(P)
(5)	(5)	・自分にはよいところがあると思いますか。	78.8	-2.4	69.8	-4.3
(6)	(6)	・先生は、よいところを認めてくれていると思いますか。	85.6	-0.5	79.7	-1.8
(17)	(17)	・家で、自分で計画を立てて勉強している。	76.7	+5.2	53.1	+2.7
(18)	(18)	・学校の授業以外に、普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらい の時間、勉強しますか（学習塾や家庭教師を含む、小…30分以上、 中…1時間以上）。	94.0	+3.8	64.2	-5.6
(42)	(45)	・国語の授業では、目的に応じて、自分の考えを話したり 書いたりしていますか。	78.1	0	79.5	+2.1
(39)	(42)	・国語の授業の内容はよく分かりますか。	86.5	+1.6	80.3	+2.7
(48)	(51)	・算数（数学）の授業の内容はよく分かりますか。	85.0	+1.5	73.0	-0.9
	(56)	・英語の授業はよく分かりますか。			62.3	-3.7

② 主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善について

質問番号		質問事項	小学校		中学校	
小	中		宮城県 児童の回答(%)	全国との かい離(P)	宮城県 生徒の回答(%)	全国との かい離(P)
(29)	(32)	・話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げ たりすることができた。	73.2	-0.9	73.2	+0.4
(35)	(37)	・課題の解決に向けて、自分で考え、自分から進んで取り 組んでいたと思いますか。	79.1	+1.4	76.1	+1.3
(36)	(38)	・自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく 伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫し て発表していたと思いますか。	64.1	+1.6	55.7	-0.1

(3) 学校の授業改善・学校運営等に関する結果（「学校の回答」の一部抜粋）

① 県「学力向上に向けた5つの提言」に関する取組状況について

質問番号		質問事項	小学校		中学校	
小	中		宮城県 学校の回答(%)	全国との かい離(P)	宮城県 学校の回答(%)	全国との かい離(P)
(14)	(14)	・児童（生徒）一人一人のよい点や可能性を見付け評価 する（褒めるなど）取組を行いましたか。	99.6	+0.8	98.5	-0.1
(59)	(73)	・家庭学習の課題の与え方について、校内の教職員で共 通理解を図りましたか。	96.5	+4.3	91.0	+4.0
(60)	(74)	・学校では、児童（生徒）に家庭での学習方法等を具体 例を挙げながら教えましたか。	97.6	+2.1	95.5	+3.2

② 主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善について

質問番号		質問事項	小学校		中学校	
小	中		宮城県 学校の回答(%)	全国との かい離(P)	宮城県 学校の回答(%)	全国との かい離(P)
(32)	(33)	・児童（生徒）は、授業では、課題の解決に向けて、自分 で考え、自分から取り組むことができていると思いますか。	87.6	+2.1	83.6	+1.0
(37)	(37)	・習得・活用及び探究の学習過程を見通した指導方法の 改善及び工夫をしましたか。	92.0	+2.7	87.3	-0.7
(38)	(38)	・各教科で身に付けたことを、様々な課題の解決に生か すことができるような機会を設けましたか。	91.2	+6.5	79.1	+1.2

③ 学校運営に関する取組状況について

質問番号		質問事項	小学校		中学校	
小	中		宮城県 学校の回答(%)	全国との かい離(P)	宮城県 学校の回答(%)	全国との かい離(P)
(17)	(17)	・児童（生徒）の姿や地域の現状等に関する調査や各種データ等に基づき、教育課程を編成し、実施し評価して改善を図る一連のPDCAサイクルを確立していますか。	99.2	+3.8	97.0	+3.6
(20)	(20)	・全国学力・学習状況調査の結果を地方公共団体における独自の学力調査の結果と併せて分析し、具体的な教育指導の改善や指導計画等への反映を行っていますか。	91.7	-3.6	85.9	-7.8
(21)	(21)	・学校として業務改善に取り組んでいますか。	99.6	+1.1	95.5	-2.3
(52)	(66)	・近隣等の小（中）学校と授業研究を行うなど、合同して研修を行いましたか。	62.9	-7.7	71.6	-4.6
(53)	(67)	・平成30年度の全国学力・学習状況調査の分析結果について、近隣等の小（中）学校と成果や課題を共有しましたか。	58.1	-2.5	61.2	+1.2

5 今後の対応

宮城県教育委員会では、指導主事学校訪問、学力向上研究指定校事業、学力向上成果普及マンパワー活用事業、全国学力・学習状況調査活用研修会、算数チャレンジ（算チャレ）の実施等により学力向上対策に力を入れてきた。

今後も市町村教育委員会と課題意識の共有を図りながら、学力向上に向けた教育活動の改善と充実を目指していくとともに、以下の点について力を入れていく。

- ① 各研修会等において、「学力向上に向けた5つの提言」の一層の実践化・自校化を図り、主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善を促進する。
- ② 全ての小・中学校の教科主任、研究主任等を対象に、「学力向上研修会及び学力・学習状況調査活用研修会」を開催し、学力調査官を講師に招聘し、新学習指導要領を踏まえた全国学力・学習状況調査の考え方を周知するとともに、各学校の分析結果を授業改善に生かすよう働き掛けていく。
- ③ 外国語指導力向上研修会を開催し、小中連携を図りながら指導力の向上を促進する。また、英語能力測定テスト（英検I B A）を活用し、生徒の学習意欲を高めていく。
- ④ 県指定の学力向上研究指定校の成果を公開研究会等において域内に広く発信するとともに、指導主事学校訪問等を通して確かな協働による授業づくりを促進する。
- ⑤ 「市町村教育委員会との連携による学校サポート事業」を通して、全国学力・学習状況調査の課題等を踏まえ、近隣の小・中学校による合同研修や教育課程の接続等の「小中連携」を学力向上と生徒指導の両面から促進する。
- ⑥ 県と市教育委員会が連携し、学力向上の自律的なPDCAサイクルの確立を目指す「学力向上マネジメント支援事業」の成果等について、研修会等で広く発信していく。【新規事業】

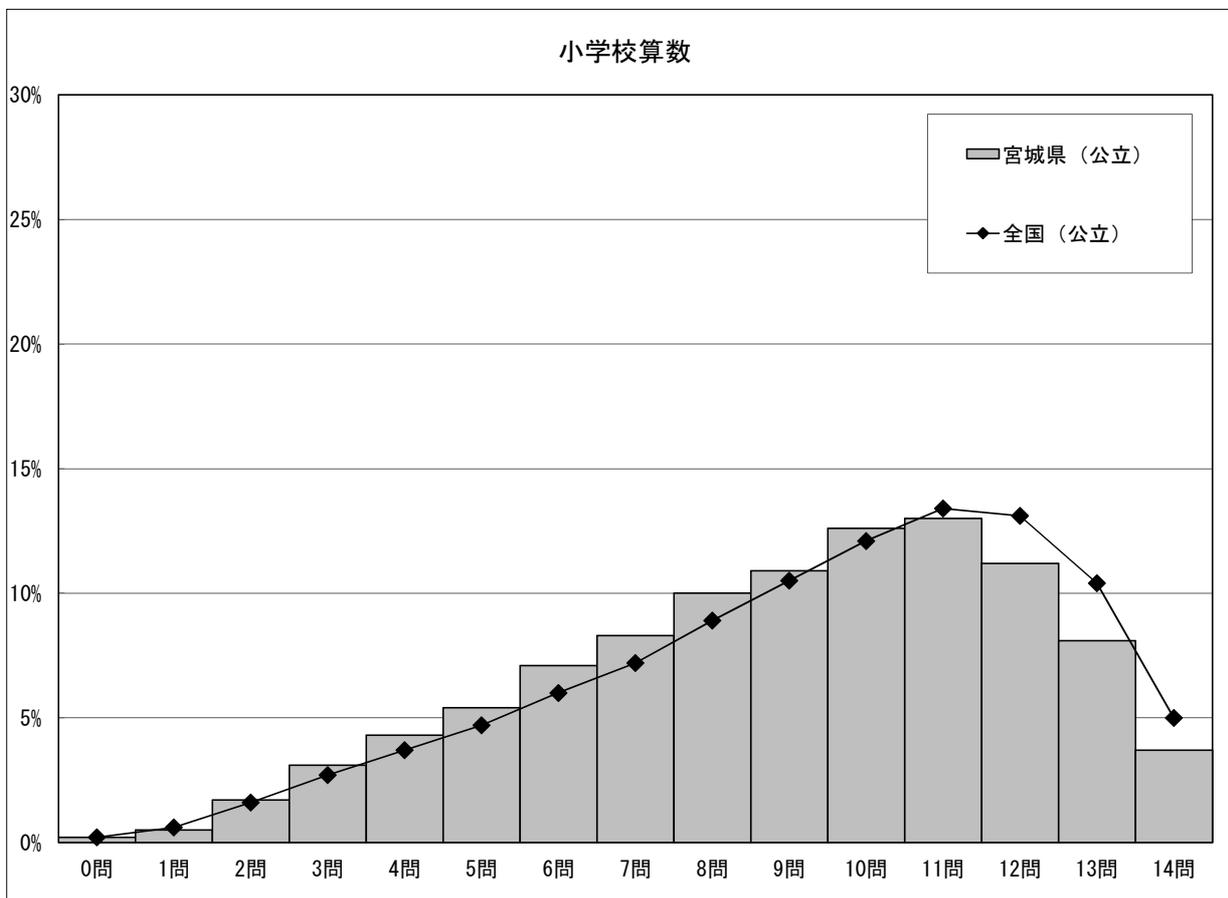
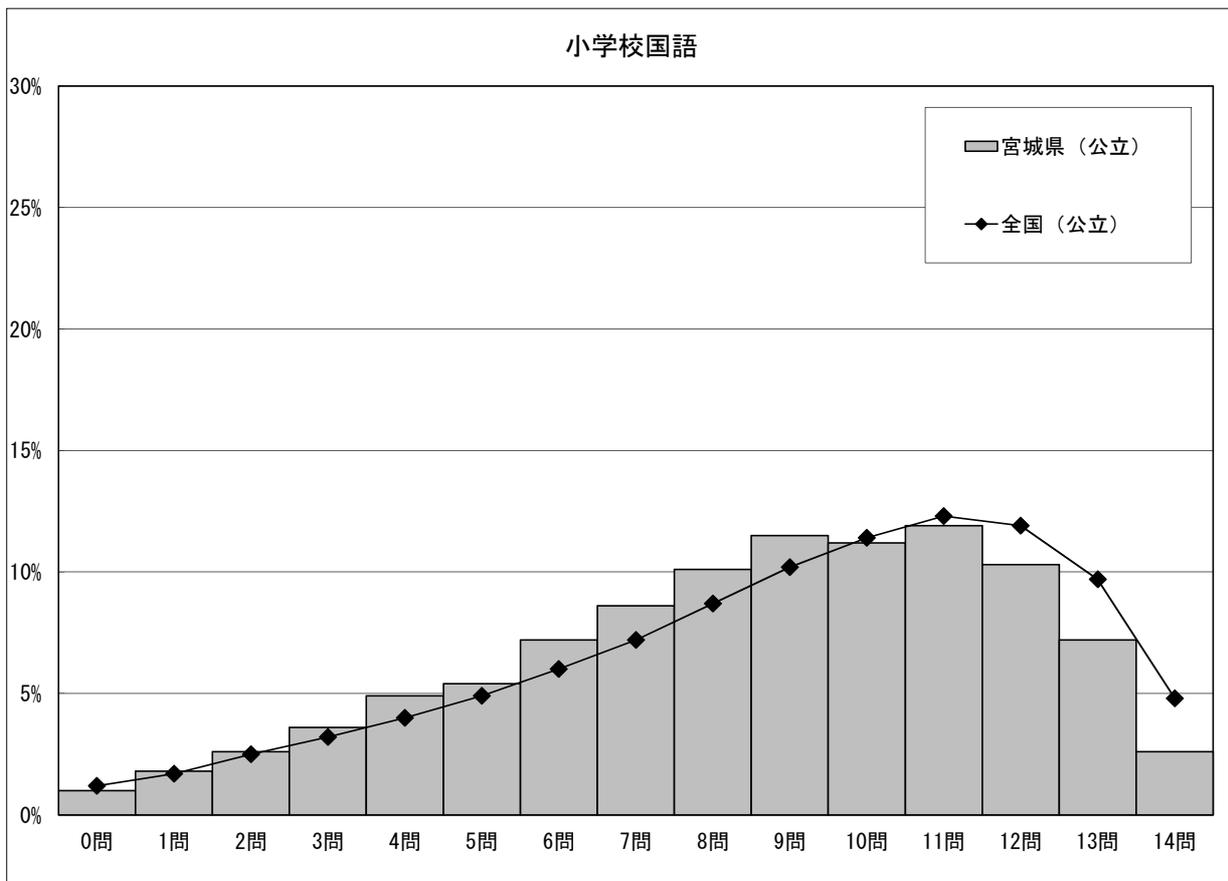
今後、宮城県検証改善委員会において、詳細な結果の分析と具体的な対応策を報告書としてまとめ、各学校で授業改善が一層図られるよう発信していく。

学力向上に向けた5つの提言

平成25年10月16日 宮城県教育委員会

- 1 どの子供にも積極的に声掛けをするとともに、子供の声に耳を傾けること。
- 2 子供をほめること、認めること。
- 3 授業のねらいを明確にするとともに、授業の終末に適用問題や小テスト、授業感想を書く時間を位置付けること。
- 4 自分の考えをノートにしっかり書かせること。
- 5 家庭学習の時間を確保すること。

正答数分布グラフ【小学校】



正答数分布グラフ【中学校】

